

北海道イケメン議員 フェイスブック写真集



小樽市議会議員 安斎哲也



千歳市議会議員 太田のりゆき



旭川市議会議員 上村ゆうじ



蘭越町議会議員 琵琶博之

北海道の地域で頑張っている議員がフェイスブックに投稿した写真を集めて、「北海道イケメン議員 フェイスブック写真集」を作成しました。

地方議員にどのようなイメージをお持ちでしょうか。

ここで紹介する議員は、若くて、元気で、熱いハートを持っています。自分の街がとても好きで、議会はもちろんのこと、まちづくりの活動にも一生懸命に取り組んでいます。

あなたの街にもそんなイケメン議員がいれば、ぜひ推薦して頂ければ幸いです。この写真集を通じて、少しでも議員の存在が身近なものになれば嬉しく思います。

2013年11月

琵琶博之

美人すぎる市議も推薦しています

イケメン議員の写真集を出版する、と聞いたときは驚きましたが、メンバーを見れば納得しました。私もオススメします。

札幌市議会議員 山口かずさ

<http://www.yamaguchikazusa.jp>





【プロフィール】

安齋 哲也(あんざい てつや)

1984年8月14日生まれ

<http://te28anzai.com/>

ポドウェルインターネットスクール卒業

前職は地域インターネット新聞社

趣味はまちづくり活動とスポーツ(水泳・スキー)

尊敬する人物は上杉鷹山





【小樽市の紹介】

海と山に囲まれた自然豊かな町。北海道で最初に鉄道が開設し、日本の近代化を支えました。今も明治・大正・昭和の歴史的な建造物が残り、全国でも有数の観光地としても知られています。

札幌の隣であることのメリットがある一方、デメリットもあり、若者世代が流出傾向にあります。このような中、若い世代が、「自分たちでより良いまちにしなければ」と立ち上がり、元気で楽しいまちづくりのため奮闘しています。

小樽は、昔ながらの行事や例大祭などイベントの多いまちで、ぜひ一度お越し頂けたらと嬉しく思います。



【立候補のきっかけ】

議会中に居眠りするそんな様子を見聞きし、市議会議員とは一体何をしているのか、本当に市民の声を反映しているのか、そんな疑念から、自分が市議会議員になることによって、様々な媒体を通じ議員活動の情報共有をし、市民とともに汗をかく議員になりたいと思い、立候補致しました。



【力を入れている議員活動】

居眠り議会の改革、定数削減や市政市議会の情報公開

若者と一緒にイベント企画

若者の就職・居住・起業支援、高齢者を支える街

【活動ポリシー】

「なせば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」

自助・互助・公助の三助によって、誰もがハッピーになれる社会を目差す





【プロフィール】

太田 憲之(おおた のりゆき)、1980年7月14日生まれ(33歳)
末広小学校・富丘中学校・千歳高校・専修大学北海道短期大学経済学部
北海学園大学法学部卒業

地元の建設会社に就職したが、平成16年に実家の不動産管理会社に就職
有限会社ケーアンドシーコーポレーション 専務取締役

平成21年5月千歳市議会議員選挙において初当選
(当時28歳、千歳市では歴代最年少)

現在、2期目(自民党議員会所属)





【千歳市の紹介】

人口 95,387 人(平成 25 年 10 月 1 日現在)。北海道の空の玄関、新千歳空港を有し、西部には国立公園支笏湖、東部にはパレットの丘など広大な農村地域といった豊かな自然も市街地から車ですぐ行ける範囲にあります。

名水 100 選に選ばれたナイベツ川の湧水が水道水に使われており、その水質の良さは、市民はもちろん食品加工や精密機械の工場からも定評があります。

千歳市は世界一、日本一、北海道一の 3 つの一番があります。世界一は(ギネス認定)、単一路線の利用乗降客数が一番、日本一は、自衛隊の規模、隊員数が一番、北海道一は、平均年齢が北海道で一番若い市町村です。





【立候補のきっかけ】

平成 15 年の統一地方選挙において北海道議会議員選挙の手伝いをした事がきっかけで、町内会役員や地元の祭りの実行委員になったり、ボランティア活動に参加するようになる。

そこでより深く地域の事を知る事ができ、同時に様々な地域課題を感じるようになる中、地元が議員空白区であり地域から希望する声があった事と、自分と近い世代の声を拾える存在が議会内にはないのではと思った事や、地域の諸課題に対して何とか改善していきたいと強く思った事がきっかけ。



【力を入れている議員活動】

救急医療体制の維持・改善
食育や地産地消を絡めた農業振興
スポーツ振興と観光施策の推進



【活動ポリシー】

初心を忘れず、自分の活動・議会での質問等が、最終的に市民利益にきちんとつながるかを常に意識する。特定個人のための利益に繋がる要望・依頼は受け付けない。



【プロフィール】

上村 有史(かみむら ゆうじ)

1977年5月13日生まれ

附属小学校・附属中学校・旭川東高校・中央大学法学部卒業

グッドウィルグループ(株)帯広支店長・札幌支店長を経て2005年に帰郷
元エンターテイメントスペース EDEN 代表

平成19年4月の統一地方選挙において、旭川市議会議員初当選(29歳)

現在、2期目(無所属)





【旭川市の紹介】

人口 349,316 人(平成 25 年 9 月末現在)。北海道第 2 の人口規模を有する中核市。大雪山連邦に抱かれ、石狩川をはじめとする多くの河川が流れ明瞭な四季が織りなす自然と、医療・福祉・教育などの都市機能が共存する北海道の拠点都市。

全国的にブレイクした旭山動物園や旭川ラーメンなどの観光資源もあり、近年では台湾をはじめとした外国人観光客の入り込みも増加している。

旭川駅周辺の「北彩都」再開発事業の最終段階を迎えており、新駅舎や駅前広場、北彩都ガーデンの造成が進められているほか、平成 27 年春には駅直結型のイオンモールの開業が予定され中心市街地の集客力、魅力の向上が図られている。





【立候補のきっかけ】

自分自身の故郷である旭川の発展に貢献することを生業としていきたいと考え帰郷。

政治への関わりについても一つ的手段として意識していたところ、近く選挙があること、若い世代の立候補がほとんどないことを知り立候補を決意。

市議会のレベルも低いのではないかという疑問も持っていた。





【力を入れている議員活動】

中心市街地の活性化、駅前に恒久歩行者天国が1キロに及ぶメインストリート「買物公園」の再生。旭川市最大の個性であり、財産でもある中心市街地の魅力を高めることで地域の活性化を図りたい。



2009.7.30~8.1



【活動ポリシー】

いわゆる後援会活動を含め、次の選挙を意識した活動は行なわない。組織的な応援を求めず、常に自由な立場で市民にとっての最善を追求し判断する。認可保育所入所や市営住宅入居の要望など個別の利害に関わる依頼は受け付けない。





【プロフィール】

琵琶博之(びわひろゆき)、1972年生まれ、東大阪市出身。

同志社大学法学部卒業、NTT 西日本勤務後、バックパッカーで世界一周の新婚旅行。スイスで見た光景に憧れ、2010年10月にニセコエリアに移住。

2011年4月に蘭越町議会議員に初当選、現在1期目。





【蘭越町の紹介】

人口 5,138 人(2013 年 9 月末現在)。後志支庁管内の南西部にあり、周囲はニセコ連峰の山岳に囲まれている。

食味コンテストで全国一に選ばれたことのある「らんこし米」、豊富な泉質の「7つの温泉郷」、清流日本一に何度も選ばれている「尻別川」などが町の自慢。





【立候補のきっかけ】

「70 歳を超えるトンでもない元議員が無投票で当選するかも知れない」と聞き、阻止しようと思ったのが直接のきっかけ。

町営住宅入居の条件で苦労したこと、ホームページがなく町営スキー場の存在を知らなかったことも改善できると思い、立候補することに。





【力を入れている議員活動】

ICT の活用、移住者の視点、若者の意見を反映したまちづくり

* 議員活動(2012年9月～2013年8月)を電子書籍で無料配信中

<http://p.booklog.jp/book/77228/read>

* 第7回マニフェスト大賞優秀政策提言賞、議員力検定議員1級、議員ブログでヤフー検索全国1位、維新政治塾生





【活動ポリシー】

批判を恐れず実行する
次の選挙を考えない
ブログで活動をフルオープン
<http://nisekoweb.sblo.jp/>



北海道イケメン議員 フェイスブック写真集

2013年11月1日初版発行

発行:琵琶博之

〒048-1301 北海道磯谷郡蘭越町蘭越町 756-2

hiroyuki.biwa@facebook.com

協力:安齋哲也・太田のりゆき・上村ゆうじ